

収穫・出荷は2%増

ニンジン、キャベツ等増加

農水省では昨年の野菜生産出荷統計をまとめた。全体(41品目)では作付面積は1%微減したものの、収穫量、出荷量とも2%増加した。昨年は品目と時期によっては

天候不順で出荷が不安定になる場面もみられたものの、全体的には作付けを減らしたにもかかわらず前年より収穫、出荷が増加した。

主要12品目ではニンジンの収穫・出荷量が5%増加したほか、サトイモ、キャベツ、ジャガイモなどが増加。ジャガイモ、サトイモ、ナスでは出荷が増加したにもかかわらず、卸売市場の全国

平均価格も上昇した。なお、収穫量と出荷量と比較すると、収穫量の15・2%に当たる209万4千トが出荷されている。

ない。この分は農家の自家消費や出荷段階における規格外品の廃棄などが、1973年には26・0%もあったのが縮小している。生産技術や資材の向上による正品化率の高まりに加え、全国で野菜の規格外品を活用するようになってきたことなどが要因とみられる。

2014年野菜の年間計の作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積 (ha)	収穫量 (トン)	出荷量 (トン)	対前年産比(%)		
				作付面積	収穫量	出荷量
合計(41品目)	477,700	13,763,000	11,669,000	99	102	102
ダイコン	33,300	1,452,000	1,170,000	99	100	100
ニンジン	18,400	634,100	563,600	99	105	105
ジャガイモ	78,300	2,456,000	2,055,000	98	102	103
サトイモ	12,900	165,700	106,300	99	102	104
ハクサイ	17,800	914,400	736,500	100	101	101
キャベツ	34,700	1,479,000	1,315,000	101	103	103
レタス	21,300	577,300	546,000	100	100	100
ネギ	22,900	483,800	389,000	100	101	102
キュウリ	11,100	548,200	465,000	97	95	95
ナス	9,570	322,700	248,600	99	100	101
トマト	12,100	739,900	665,700	100	99	99
ピーマン	3,320	145,200	127,100	99	100	101

農水省「野菜生産出荷統計」より